

Mauakeにてリトリートスティックプロジェクトを開始

資生堂

資生堂研究所が主導するオープンイノベーションプログラム「fibona(ファイボナ)」は、アタラシイものや体験の応援購入サービス「Mauake(マカアケ)」にて7月21日より、新たに「リトリートスティック」プロジェクトを開始した。

今回の活動は、研究に4種セット、4500円よって生まれたテクノロジのβ版をよりスピーディにMauakeサイトをド感を持って市場に導入通じて応援購入を募る。

今回、「S/ENSE fibonaの「Speedy Trial」のプロジェクト。資生堂研究所と資生堂クリエイティブが新たに共同開発した空間コンセプト「S/E



NSE(エスエンス)の自然のゆらぎやリズムに着目した空間を演出するコンセプト)を搭載した香りつきスティック状のクリーム「リトリートスティック」のβ版(各2g

1本)のりあたたかく肌なじむモニングブルーム、ひんやりと肌なブリーズ、しっとり肌

コロナ禍の集まり需要を受け、ジグソーパズルの市場が拡大しているようで、矢野経済研究所が今年1月に発表した国内の玩具市場調査(2020年度)の結果によると、ジグソーパズルは前年度比61・6%増と大きく伸びている。

生まれて初めて1000ピースのジグソーパズルにチャレンジした。

軽い気持ちで始めてみたものの、思いの外難しい。いつもの色やラインがわかりやすいキャラクターもののパズルではなく、美

私のH&B日記

ジグソーパズルにチャレンジした。

難易度が高かった。序盤は快調に端っこを外周部分をすぐ組み立てられたのだが、そこから先がどこに組むべきなのか皆目当

がつかなくなり、手がし続けるため、脳が活性化される。実際に、

でかけて完成した。ジグソーパズルは視覚情報をもとにピースのはまる場所を探し続け、さらに細かいピースを扱い、指先を動かす練習になる。脳が活性化される。実際に、

は、集中力を持てた。ジグソーパズルは視覚情報をもとにピースのはまる場所を探し続け、さらに細かいピースを扱い、指先を動かす練習になる。脳が活性化される。実際に、

花王公式ウェブサイト内「製品カタログ」ページ



「製品カタログ」中国語(簡体字)表示の一例
右上囲みで示したところから、言語を選ぶ

を商品の改良に活かし、本格販売を目指したさらなる価値創造を行う。

「fibona」の取り組みの1つである「S peedy Trial」は、研究によって生まれたテクノロジのβ版をスピーディに市場に導入し、より多くの

肌になじむリフレッシュングレイン、計4種をセットにした。くり出し式なので、手指をよごさずに肌になじませられる。

この商品には「香りにゆらぎのある場合には、そうでない場合と比較して、よりリラックス効果が期待できる」という資生堂研究所の知見が活かされており、人工的でストレスの多い環境においても最適な「香りのゆらぎ」を手軽に得られることとで、仕事や日常生活の合間に、自然環境とつながるような体験が期待できる。

今後、β版のテスト販売を通じて得られる生活者からのフィードバックを、自然環境とつながるような体験が期待できる。

「商品を探る」「商品内容を確認する」といった行動に対応した公式ウェブサイト内にある紹介ページ

「製品カタログ」は、2021年3月に全面リニューアルし、掲載される全ての商品の取扱店を、位置情報を用いて検索できるようにするなど機能性を高めてきた。

今回、日本語以外の言語を主に使って生活する人や、訪日外国人に花王商品の特性を理解し、不安なく使ってもらうことを目指し、日本語の「製品カタログ」(化粧品を除く)の画面から英語と中国語(簡体字)で表示されるページを案内する機能を、本格的に稼働させた。

英語、中国語(簡体字)のそれぞれ

プロジェクトで得られた応援購入者からのフィードバックや、プロジェクト実行により得た学びは、今回の「リトリートスティック」プロジェクトにも活かされており、今後の新たなイノベーション創出モデルの構築に向けて活用していく。

の「製品カタログ」サイトでは、日本語の商品名は視認性も考え、そのまま掲載しているが、それぞれの言語で使用目的や使い方がきちんとわかるようにこだわった。その実現に向け、グローバル事業推進センターとDX戦略推進センターでは、「製品カタログ」の翻訳を含めた業務プロセス改善のためのシステムを新たに構築している。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。

今後も、製品の改良に沿って最新の情報をタイムリーに提供できるようにするなど、さらに使いやすく、役立つ「製品カタログ」を目指していく。